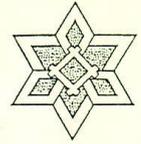


ふくい

舞鶴市立福井小学校

令和5年3月24日発行

(本年度14-②号)



目指す子ども像

かしこく やさしく たくましく ふるさと大好き

令和4年度を終えて…

3月になると春らしい良い天気が続き、グラウンドで元気に遊ぶ子ども達の姿が見られました。花粉の飛散量も多く「花粉症」には厳しい季節です。学校でも症状が重い子は外遊びもちょっと気が引けます。今年の花粉量は「例年の10倍」と言われています。スギ花粉は前年の夏の気象に影響されるようで、夏が「高温・多照・少雨」の年はより多くの花芽を作り、それが春になると一斉に開花し大量の花粉を飛ばします。今後は徐々に花粉の飛散も収まります。もう少しの辛抱でしょうか。

コロナ禍での生活も3年が過ぎ、感染防止対策が当たり前になっていますが、今年の学習活動は、感染状況を注視しながらできるだけ規制をせずに取り組みました。日帰りだった修学旅行は1泊2日の行程に戻し、音楽集会や6年生を送る会も、全校が集合して開催しました。保護者の皆様には参観の規制等ご不便をおかけしましたが、予定通り参観行事も実施できました。3月中旬からはマスク着用が緩和されましたが、収束には至っておらず、油断は禁物です。

学校は感染リスクの高い環境であるにも関わらず、本校は大規模な感染拡大を回避しています。多くのご家庭が、児童本人のみならず家族の体調も含めて、早い段階から「念のため欠席」のご判断をいただいたことにより、陽性が確認された場合でも、校内での感染や濃厚接触には及びませんでした。これは、保護者の皆様が感染防止について高い意識を持っていただいている表れだと感謝しています。今後は、さらに感染防止対策緩和へシフトしていくと思われませんが「マスク無し」に不安を感じる子や保護者もおられるでしょう。現在もマスクの着用を時と場合に応じて臨機応変に判断しながら指導していますが、新型コロナウイルス感染症が5類になったり、感染防止対策が一層緩和されたりする事で、ますます対応が変化していく事も予想されます。学校は基本的に集団活動の場です。国（文部科学省等）の方針に沿いながら、本校の実態に応じた感染防止対策が必要だと考えます。引き続き本校の取組にご理解・ご協力をお願いいたします。

さて、昨日3月23日（木）には「令和4年度卒業証書授与式」を行い、卒業生16名が学び舎を巣立って行きました。卒業生は小学校生活で様々な経験を通して多くを学び成長しました。最高学年となった今年は、きずな班活動やきずなフェスタ、遠足、運動会等で下級生の手本となり本当に頼りになる存在でした。また、学級として個々の個性を認め、一人一人の良さを生かしながら、明るい笑顔の絶えない仲の良さが魅力でした。もちろん子どもの社会ですから、トラブルや悩み、課題はたくさんありましたが「大きくジャンプ～未来へ向かって～」を合言葉に、6年生として思いやりの心や努力する大切さ、周りの人への感謝を学び、立派に成長することができました。小学校生活で身に付けた力をしっかり生かし、中学校でも活躍してくれる事でしょう。本日、24日には令和4年度修了式を行いました。本年度も子ども達が学習や行事に取り組む様子を見ていて、一人一人が目標に向かって努力し、成長する姿に触れる事ができました。どの学年も粘り強く学習に取り組み、卒業生と同じくらい「福井っ子パワー」を発揮し活躍した子がたくさんいました。春休みにはしっかり「反省」をし、来る新年度に向けて準備を進めたいです。今後も学校のチーム力を高め「今日も楽しかった、明日もまた学校へ来たい」と思える学校づくりを目指していきます。保護者・地域の皆様方には、本校の教育活動に多大なご理解・ご協力をご協力いただき感謝申し上げますとともに、新年度も変わらぬご支援をお願いいたします。

校長 波多野 暢 教職員一同



令和4年度卒業式